

寒川町事業仕分け 実施結果と町の方針

事業名	文書館運営事業			主管課	総務課
仕分け結果	不要	民間	国・県・広域	町(要改善)	町(現行どおり)
	3	0	0	2	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書館は図書館業務とすればよい。空いたスペースは教育・文化等に活用すべき。【不要】 ・ 基本理念に沿って担当者が魅力を見つけるべき。レファレンスの目標設定値が低い。情報公開の推進も含め、今後の役割は大きくなるかもしれない。【町(要改善)】 ・ 公が行うのではなく、ボランティアを活用し、図書館に含めて実施すべき。【不要】 ・ 館のあり方を町民合意の中で深めていくべき。その結果、図書館で足りるなら、そういう結果もある。【町(要改善)】 				
今後の方針	町(要改善)				
理由	<p>文書館は、重要な記録を保存し、記録から過去のことを知り、その上で町の未来を考え、町政に役立てていくことが存在意義である。文書館のはたすべき責務は今後さらに大きくなるため、本事業は継続とする。</p> <p>今後は団塊の世代の退職等により、郷土の歴史等に興味を持ち、研究する人の増加が見込まれ、図書館や文書館の利用者の増加が予想される。</p> <p>同じ建物にある利点を生かし、職員の交流を行い、文書館、図書館の職員が双方のレファレンスができるようにする等のスキルアップを図り、人材育成を行う。職員の併任についても検討する。</p> <p>また、文書館は開館から2年しか経過していないため、現在の形のメリット、デメリットについての分析が十分にできていない。当分の間は現状のまま運営するが、開館5年目にあたる平成23年度までに現在の形がよいのか、あり方について検討する。</p>				